



< つまずく会社・救われる会社 >

しだいに輪郭が明らかになった新経審では、企業規模による特性を踏まえた企業評価のあり方が示されました。すなわち、大企業では「完工高を中心とした現状の評価は、市場の企業評価と乖離」しているため、完工高偏重から利益重視の経営への転換が示され、中堅・中小企業では「Y(経営状況)の実質ウェイトが高いため、企業実態に比べ過大な評価が行われることがある。」とし、利益の蓄積も重視し、また、地域貢献や労働福祉を重視した評価、技術者の質の評価等を掲げています。もちろん、こうした複数の課題をひとつの評価基準で審査するので、個別企業にとっては新経審によって大きく点数を下げる事態も予想されます。

X1(完工高)の改正案では、主に大企業及び完工高5億円以下の層に影響が大きく出るようになっていきます。(右上囲み参照)しかし、ウェイトが0.35から0.25に下がることによって、これらの層以外の層でも完工高に依存して点数を獲得いた会社も大きな点数の下落要因になります。

この点数の下落をどこで吸収するのでしょうか。
X1 評点で減少した0.1(0.35 - 0.25 = 0.1)の配分先がX2 評点とZ 評点です。X2 評点は規模の評点であり、Z 評点も完工高との相関関係が大きい指標です。X1(完工高)のマイナス要因を最小限に抑え、大企業に配慮しているようにも見えます。特に、X2 評点の評点幅が従来の118点~954点から400点程度~2200点程度まで拡大して、Pに占める割合も高くなっています。(図1、図2参照)X2 評点は、自己資本額(=純資産額)とEBITDA(イービットディーエー・利払前税引前償却前利益(=営業利益+減価償却費))で、絶対額で評価されます。したがって、通常、大企業に有利にできています。また、中堅・中小企業でも過去利益を蓄積してきた会社はやや余裕があります。しかしながら、自己資本を蓄積していない中小の企業には厳しい指標です。どこで点数を取り戻せばよいかと頭を抱えそうです。

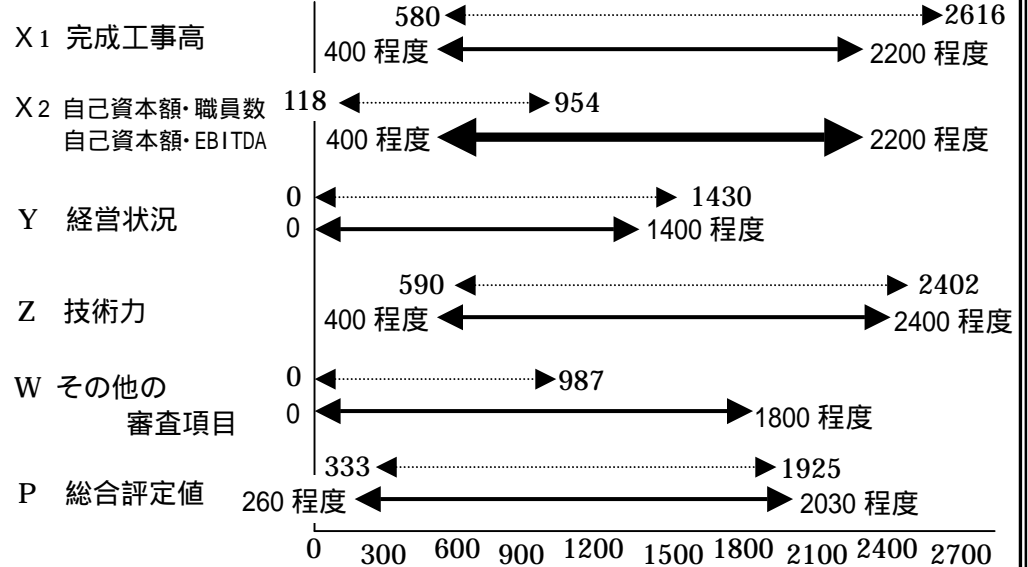
あなたは、つまずく会社、それとも、救いの手が差し伸べられている会社ですか。利益重視の経営への転換はむしろ中小の会社こそ必要なのです。

WISENET編集部 松村 清(税理士)

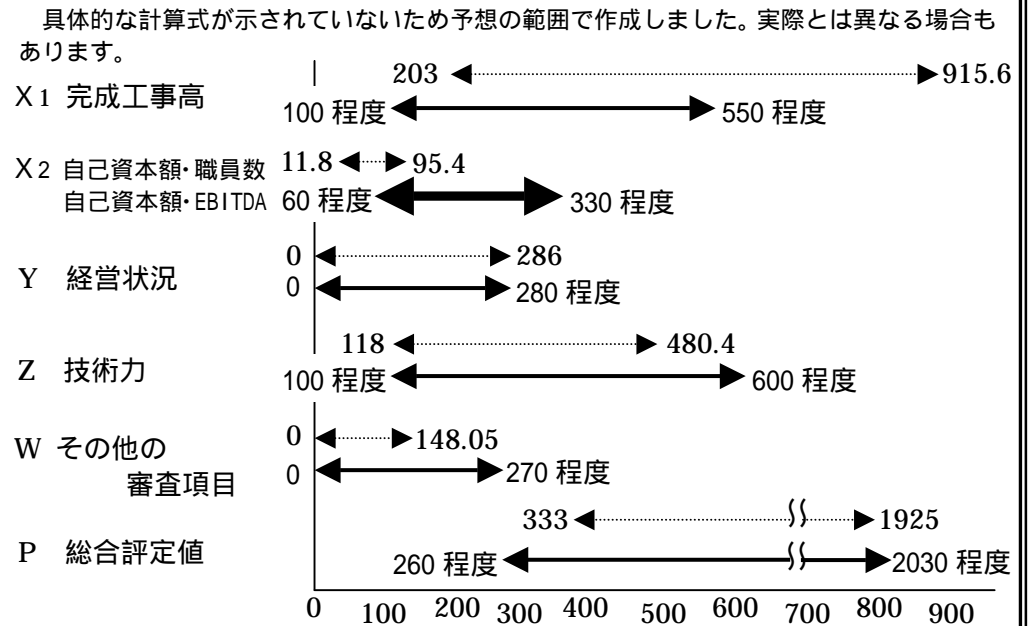
X1(完工高)の改正案
ウェイト 0.35 0.25 引き下げ
完工高上限 2000億 1000億 引き下げ
評点上限 2616点 2200点程度 引き下げ
評点下限 580点 400点 引き下げ

——(太線): 新経審

【図1】評点の上限値・下限値



【図2】P点に換算した点数



弊社 100% 出資子会社 **ワイズ公共データシステム株式会社** < 経営状況分析申請 > 受付中!!

詳しい資料請求はこちらまで **お電話 <026-232-1145>** e-mail <info@wise-pds.jp>

お盆休業のお知らせ

ワイズ 窓口・システムサポート業務について
8/11(土)~8/15(水)までお休みとさせていただきます。

ワイズ公共データシステム 分析申請受付業務について
8/11(土)~8/13(月)の間はお休みとさせていただきます。

Wisdom 資料請求(無償) Wisdom デモ CD 希望(無償)
送信先宛名変更(右欄に変更後の宛名をご記入ください)
今後「Wise FAXNET」送信不要 今後「Wise FAXNET」はメールで希望
FAX 送信はこちらまで **0269-65-4745**

資料・デモをご希望の方は、下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名とご担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名	
ご担当者様	ご役職・部署名
TEL	FAX

今後メールでの送信をご希望される場合は下記にアドレスをご記入下さい。
e-mail

「WISE FAXNET」は建設業業務支援ソフト「Wisdom(ウィズダム)」ユーザー様、ワイズ公共データシステム(株)に経営状況分析申請を頂いたお客様、又は資料のご請求を頂きましたお客様に経審に関する最新情報、経審書類作成のワンポイントを紹介、月一回の発行となります。内容に関するお問い合わせ、バックナンバーの請求(99年2月号~)は弊社までご連絡下さい。弊社ホームページよりバックナンバーのダウンロードができます(7月号は7月31日より可能)。ログインIDは「1921」です。入力後、[ログイン]ボタンをクリックして下さい。ワイズホームページ <http://www.wise.co.jp/>